八尾をどっぷり楽しむ環境情報マガジン

環境アニメイティッドやお

河内の風

いきいきハ尾環境フェスティバル 特集号

2015年12月No.126

環境アニメイティッドやおは、八尾市内で環境問題に取り組んでいる市民・市民団体・企業・教育機関などを応援するための協議会です。

アニメイティッドやお　検索

環境アニメイティッドやお　広報委員会　発行

イベント概要

やおの輪（わ）・ecoの環（わ）・未来の羽（わ）
いきいき八尾環境フェスティバル2015

いきいき八尾環境フェスティバル2015は、第１部が10月25日（日）、西武八尾店とアリオ八尾において、第２部が11月８日（日）、大阪経済法科大学花岡キャンパスを会場に開催されました。

１部

当日は晴天。西武ホールを中心にした８階フロアにおける各イベント・ブースは、どこもかしこも大盛況でした。地球戦士ゼロスショーや巨大紙芝居（西武およびアリオの双方で上演）は子どもを引きつけ、音楽会もまた終始参加者でにぎわいました。

体験しながら環境を考えるイベントの広がり

八尾ふるさと歴史楽校など環境アニメイティッドやおの取組みにも参加者から関心が寄せられ、協賛企業や出展企業もこれまで以上に広がり、市内の飲食店さんからはオリジナルメニューが提供されました。多くの学生が事務局を担い、子どもや親が体験しながら八尾の環境問題を考えるというフェスティバルとしての盛り上がりがつくられました。

今回フェスティバルのテーマソングが学生によって作詞、作曲され、最後に披露されました。八尾の特産物の紹介や良いまちにする上で人の結びつきが大事であることなどを歌い上げたもので、環境保全の取組みが歌に乗って拡大していくものと期待されます。

２部

またもや雨（４年連続）でしたが、多くの方々の参加がありました。恒例の「ドビ流し」（池干し）が行われ、ニッポンバラタナゴは約６万尾（昨年は３万尾）に繁殖していることが確認されました。

藻谷浩介氏講演「里山資本主義と高安地域」

今回の目玉企画として、「里山資本主義」で新書版賞を取っている藻谷浩介氏の講演「里山資本主義と高安地域」が行われました。里山の地域的資源である水、食料、燃料等々を活用し「安心のできる地域経済」をつくろうという趣旨です。高安地域には花き・花木栽培があり、河内木綿栽培の歴史もあり、６次産業（１次、２次、３次産業の連携）の可能性が指摘され、多くの来場者に感銘を与える講演となりました。

（広報委員　東郷 久）

いきいき音楽会

音楽会は今年も、このフェスティバルの恒例企画として、西武ホール会場を大いに盛り上げてくれました。

①曙川東地区講念仏踊り保存こども教室の子どもたちの舞台のあと、②山本高校和太鼓部の「獅子奮迅」の迫力ある演奏から、③山本高校アコースティックギター部、小編成ながら盛り上げてくれた④八尾北高校吹奏楽部の「Sing Sing Sing」、今回初参加の⑤八尾翠翔高校軽音学部、⑥八尾高校ギター部、そして最後の⑦八尾高校吹奏楽部の力強くパーカッションも楽しい「風になりたい」と、それぞれの持ち味が存分に発揮された、あっという間の２時間でした。

熱心に演奏する地元高校生に、ご来場いただいた方々も盛大な拍手で応援して下さいました。

（大阪府立八尾北高等学校　塚口 倫生さん）

学生企画

第1部 西武 八尾店

～進化していく企画～ ついにテーマ・ソングも誕生！

ぬりかべぬりえ

西武ホールのかべに現れたぬりかべぬりえというようかいのポスター。

初めは真っ白な八尾のまちが描かれていただけでしたが、たくさんの人がぬりえをしてくれてとても色鮮やかに完成しました！

ぬりえを楽しみながら、八尾のことをたくさん学んでもらいたい、そんなスタッフの想いにたくさんの人に応えていただき、八尾の特産品や伝統文化、自然が子どもたちのぬりえによって個性豊かな色に大変身！

みんなにいろんな八尾のことを楽しく学んでもらえて、ぬりかべぬりえも大満足です！

地球戦士ゼロスショー

来場者にごみ捨てのマナーを伝えるために、『地球戦士ゼロス』が駆けつけてくれました。ゼロスがピンチの時に「頑張れ！」と言っていた子どもたちの大きな声援がとても印象に残っています。楽しみながら、ごみ捨てのマナーも学ぶことのできる魅力的なショーで、大人の方も見ていて楽しめたのではないでしょうか。

またショーの最後には八尾のゆるキャラたちもステージに登場し、子どもたちと一緒に記念撮影を行いました。多くの子どもたちがゼロスやゆるキャラの下に集まり、会場が一体となった瞬間でした。

エコキャンドルづくり

今回の学生企画はNPO法人自然環境会議八尾の皆さんの協力のもと、エコキャンドル作りを行いました。

エコキャンドルとは、ろ過した使用済み油に好きな色をつけ、使わなくなったガラスコップに入れて固めたものです。たくさんのお子さんが参加し、初めての体験に目を輝かせてくれました。

また、油をろ過して再利用するまでの過程も手作りの道具で説明しました。一生懸命話を聞いてくれる姿に私たち学生スタッフも楽しく説明できました。

大変なこともありましたがフェスティバル当日にしか分からない喜びの方が多く、この企画をして良かったと思います。

環境紙芝居

子どもたちにもっと気軽に環境や自然について知ってほしい。そんな想いからこの企画は生まれました。

紙芝居は、絵本を使ったわかりやすい環境教育活動をされている、「海と空の約束プロジェクト」の西谷寛さんにお借りし、巨大な紙芝居を当日ボランティアと学生スタッフで協力して上演しました。

熱心に話を聞いている子どもたちの表情が今でも心に残っています。紙芝居の読み聞かせを終えた後も、子どもたちに質問をし、答えてもらうことにより理解を深めることができたと思います。

普段はあまり意識することない身近な環境や自然。子どもたちだけでなく、私たちも改めて自然の大切さを考えるきっかけとなりました。

ようかいクイズラリー

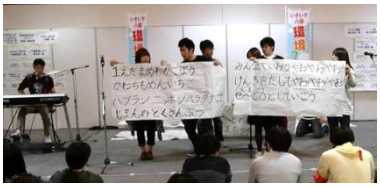
八尾市のことを知って欲しくて西武八尾店に現れた妖怪たち。その妖怪から出されたクイズに答え、スタンプを集めていくクイズラリーを行いました。

妖怪は河内木綿、文房具、歯ブラシ、枝豆、若ごぼう、リサイクルに関係した者の全員で６体。また、スタンプラリーの台紙は八尾市の地図になっていて、スタート地点で参加者の方が住んでいる場所に家のスタンプも押してもらいました。

スタンプラリーを終えて帰ってきた子どもたちはキラキラした笑顔で「全部集めたよ！」と台紙を見せてくれました。保護者の方も一緒に楽しんでいただけて、スタッフ一同嬉しい気持ちでいっぱいになりました。八尾のことを知ってもらえて妖怪たちも大喜びしています！

学生企画

第1部 西武 八尾店



テーマソング

いきいき八尾環境フェスティバルにテーマソングができました！

八尾のこと、フェスティバルのことがたっぷり詰まった歌詞に「やお！やお！やお！」と言うかけ声で一体感ある楽しい歌になっています。

歌を作る中で一番意識したことは「つながり」です。人・まち・環境のつながり、協力してくださった企業、団体とのつながり、スタッフと来場者とのつながり。そういった「つながり」を大切にしてみんなで楽しめるフェスティバルにしたいという思いを込めました。

フェスティバル当日、歌い終わった後にたくさんの方から「いい歌だね！」と言っていただきました。

この歌と共に次も楽しんでもらえるようなフェスティバルにしたいです！

屋上店舗ブース

今年のいきいき八尾環境フェスティバルでは、八尾の食べ物や環境のことをおいしく、楽しく知ってもらいたいという私たちの想いを伝えたところ、新しく４つの店舗に出店いただきました。

当日はどのお店でもお客様がおいしいと言って食べているところや、お店の方の説明を熱心に聞いている姿がみられました。

また、リユース食器の貸出では、自分の使った食器をきれいになるまで拭いている子どもたちがいました。食器を返して笑顔で帰るのを見てとても嬉しく思いました。

住んでいる地域の環境や身近な環境活動について知ってもらう良い機会になったと思います。

みんなで踊ろう河内音頭

河内音頭は八尾市伝統の盆踊りです。近年河内音頭を知る人が少なくなってきているので多くの方に知ってもらおうという企画でした。河内連の皆さんに踊り方を教えて頂き、学校で練習会を開催し、学生も気合十分でフェスティバルを迎えました。

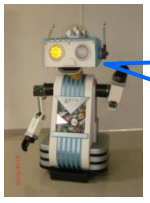
当日は河内連の皆さんをはじめ、会場の子どもたちやゼロス、ゆるキャラと一緒に河内音頭を踊って楽しみました。河内連の方が披露してくださった、生歌の音頭もあり、子どもたちの笑顔あふれる大盛り上がりの河内音頭となりました。

紙すき体験

楽しかった！ちびっこ環境学習

紙パックのリサイクル学習と紙すきハガキ作り体験では、約100組のご家族の方々にご参加を頂きました。

（リサイクルセンター学習プラザめぐる　小林 裕五さん）



紙パックは森の生き物（寒い国の針葉樹）の強い繊維から作られているのだよ。飲み物を飲んだ後も大切に扱ってね！

学習プラザの環境ロボット「めぐりん」

展示パネル

第1部 西武 八尾店

活動の様子が一目瞭然！

今年も西武ホールでは、「環境アニメイティッドやお」の活動が一目で分かるように、「八尾ふるさと歴史楽校」「高安の森自然楽校」「学校ビオトープ」「高安山整備活動」「企画交流グループ」「学校園での環境配慮の取組み」「大阪KES環境機構」「広報活動」などの様子をパネルで展示しました。

パネルの前に置いた資料を手にとって、熱心に読んでいる若者の姿も目にしました。

会場を訪れた人がぬりえや紙すき体験を楽しみながら、パネルを見て日常の環境活動にも興味を持っていただけると嬉しいです。

（広報委員　奥本 陽子）

第1部
アリオ
八尾

身近なテーマを楽しみながら環境を考える
～盛りだくさんな企画～

アリオ八尾会場では、八尾市グリーン配送推進協議会が中心となり実施しました。
また、イトーヨーカドーやトヨタ・ダイハツオートモール、大阪ガス、関西電力も出展しました。
企画内容としては、
①「エコカーの展示」
②「エコドライブシミュレーターによる体験」
③「八尾の生き物展示」
④「タッチパネルによる水生生物クイズ」
など盛りだくさんでした。
また、アリオモール内の店舗を回りながら環境に関するクイズの文字を集め、回答するといった「わくわくアリオ探検クイズ」も大盛況でした。
クイズの正解者にはクリスピークリームドーナツからのプレゼントもあり、参加者の皆様は楽しみながら問題を解いている様子でした。

▲ニッポンバラタナゴなど、八尾の生き物展示

▲書道パフォーマンスによる作品

さらに、いきいき八尾環境フェスティバルの前日のプレイベントからイトーヨーカドーによる「カートカンの配布」、トヨタ・ダイハツオートモールによる「エコキャップ射的」などの企画が行われ、多くの方が参加されました。
また、フェスティバル当日のレッドコートのステージでは、
①「地球戦士ゼロス」
②「下水道ツマラナイ実験」
③「紙芝居『海と空の約束プロジェクト』」
④「書道パフォーマンス」などの企画が盛りだくさんで、大盛況でした。

（事務局）

今回の環境フェスティバルのテーマは
「やおの輪 ecoの環 未来の羽」です。
車や水という、より身近なテーマに対して楽しみながら環境について考えていただけるフェスティバルとなりました。

▲地球戦士ゼロスショー

▲エコカー展示と美化啓発ブース

心合寺山学習館

八尾市立しおんじやま古墳学習館のブースでは、古墳から出土した円筒埴輪の実物大レプリカを使った立体パズルの体験を行いました。

バラバラにした埴輪の破片の間には磁石が埋め込まれているので、考古学者の気分で、子どもたちに組み立ててもらいましたが、立体なので、結構苦労する子もたくさん。5分くらいかけてやっと完成する子もいれば、あっという間に完成する子もいました。

破片の多さで初級・中級・上級に分かれているので、いろんなコースにチャレンジしてもらいました。

また、しおんじやま古墳のキャラクター「ハニワこうてい」も登場。会場内で来場者とふれあったり、写真を撮ったり、しおんじやま古墳のPR活動もしっかりしていました。

（八尾市立しおんじやま古墳学習館　福田　和浩さん）

ネイチャークラフト

第1部 西武 八尾店

▲巨大シイタケ

第1部

カエル、ラセンゴマ、マトイなど例年通り盛況で、休憩が取れないくらいでした。

今までに取組んでいなかった、マルタくんは「はじめて見たクラフト」と人気があって多くの人が挑戦しました。

第2部

リース作り等を一般参加者にも教えるということで、NPO自然と緑のリーダー19名が参加しましたが、今年も雨で、活動地には５名が上がり、2012年３月にシイタケの菌打ちをした木から今年もシイタケが出てきました。丸太の切り口の様な巨大なシイタケも採取出来ました。

雨の中にも関わらず、地元の人も結構参加して来られました。今回は山に上がって整備もするので無料にしました。結果的には校舎で取り組みましたがリース作り、カエルやラセンゴマを楽しんでもらえました。

（森林インストラクター阪奈会　齊藤　侊三さん）

歴史ウォーク

俊徳丸塚古墳・おかげ灯篭・式内社御祖（みおや）神社跡・愛宕塚古墳・十三街道道標などを経て経法大へ

今年も雨、でも行かんならんなぁ。10時30分服部川駅集合。

コースは駅から史跡を訪ねながら12時に大学に到着する予定です。「どうなるかな」正直不安でしたが、10時ごろ服部川駅に行くと、娘さんが二人待っていてくれました。近大の学生さんとか、しばらくして経法大の男子学生さんがお見えになりました。

10時半過ぎに着く電車まで待ちましたが予想は的中、やはりこの雨では一般の参加者はゼロでした。３人の学生さんは、この付近を歩くのは初めてとのことなので、傘をさして、予定のコースを出発しました。

みなさん、拙い説明を素直に聞いてくださって、ありがとう。歩きながら『伊勢物語』23段井筒の話をすると、女子学生さんの一人が「高校の古典で習った、なんだか、高安って初めての気はしなかったのは、それでした」とおっしゃった。感動です。

「ここがその高安なのよ。」

（八尾ふるさと 歴史楽校　坂上　弘子さん）

綿繰り体験

第2部 経法大 花岡キャンパス

新たな河内木綿を目指して

毎年、いきいき八尾環境フェスティバル第２部で、河内木綿の綿繰り・糸紡ぎ体験で参加させていただいています。

場所は、花岡キャンパスのクロノス１階入口です。すぐ隣では、コースターの藍染め体験や、学生さんがデザイン作りに参加したさまざまな河内木綿製品の販売等もあり、年々にぎやかになってきています。

江戸時代、全国的にとても有名であった河内木綿。今再び、その魅力を全国に発信するため、綿の栽培から製品作りまでを目指し、新たな歩みが始まったところです。

（八尾市立歴史民俗資料館　李 熙連伊さん）

ドビ流し

第2部 経法大 花岡キャンパス

今年も雨、雨、雨
ニッポンバラタナゴは予想以上の約６万匹が繁殖！

ドビ流しは今年も雨模様です。実行委員長はやはり雨男でしょう。

ふれあい池で行う“ドビ流し”の目的は、ニッポンバラタナゴを含む生物多様性を調査することと、それらを保全するために池の清掃をすることです。

今年は、春の時点で外来種のアメリカザリガニが大量に繁殖していたので、１回目の地引き網では網目を粗くしてザリガニのみを採集し、２回目に細かい目の地引き網で小魚を捕るように計画しました。

午前10時30分に１回目の網を引いたのですが、予想に反して、アメリカザリガニがほとんど採集されませんでした。11時に２回目の網を引くとフナを含む小魚が大量に採集され、ニッポンバラタナゴも予想以上（約６万尾）に繁殖していること、また、イシガイの稚貝の繁殖も目立ちました。清風学園の中高生や大谷高校の女子高校生も胴長を履き、大小のドブガイを約1000個体採集し、さらには小型のアメリカザリガニ779尾を防除することができました。

今年度の“ドビ流し”は、池の底にたまった有機物を含む汚泥を流し、その直後に山から引いた水を給水し、採集したすべての魚介類を再放流しました。“ドビ流し”による生物の減少を最小限におさえ、来年の繁殖につながるように配慮しました。来年が楽しみです。

（NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会　加納 義彦さん）

シンポジウム

第2部 経法大 花岡キャンパス

里山資本主義と高安地域～藻谷浩介さん～

講演会は、『里山資本主義』の著者である藻谷浩介さんにお願いしました。藻谷氏は平成合併前3,200市町村のすべてを訪問し、地域特性を多面的に把握されています。

そこで、今回の講演のテーマを、里山資本主義から見た高安地域についてお願いしたところ、快く『里山資本主義と高安地域』というテーマで講演しますとの返事をいただきました。

どのように話が展開するか興味津々で聞くうちに、日本の貿易収支データを基にして、見事に高安地域の地域経済の話に展開し、里山資本主義の安心の原理を紹介されました。

データから見えるポイントは、日本の赤字は中東からのエネルギーであり、これからの日本経済の赤字の一部を補填する資源として、里山の水と食料と燃料を里山の資源としてうまく利用することで、安心のできる地域経済を考えようということです。

対イタリヤの貿易赤字は、パスタ・チーズ・ワインであるとは全く気が付かなかった私にとっては、目から鱗だったのです。

高安には、地場産業として花き栽培や造園業があり、八尾市には日本でも有数の中小企業があります。さらにその背景に阪神地域という大消費地域が控えているという、非常に特異な地域であることを藻谷氏の講演から再確認させられました。

河内ワインや河内木綿など地産地消の６次産業化は高安地域の地域づくりに最も適した地場産業になる可能性があることを紹介され、あっという間の１時間でした。

（NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会　加納 義彦さん）

フェスティバルを終えて

地球温暖化による気候変動は始まっています。環境問題への一人一人の取組みは？身近な環境問題を子どもたちと一緒に考えてみませんか。

「いきいき八尾環境フェスティバル2015」は第１部を10月25日（日）に西武八尾店とアリオ八尾で、第２部を11月８日（日）に大阪経済法科大学花岡キャンパスで開催いたしました。

いずれも田中市長・藤本学長からご挨拶をいただきました。

第１部は好天に恵まれ、西武８階・屋上、アリオ八尾の広い構内でレッドコートなど３か所に設けたコーナーはいずれも家族連れで大いににぎわいました。

第２部は４年連続の雨にも関わらず、ふれあい池・A号館・クロノスの各催しに熱心な家族連れが群がっていました。とりわけ最後の講演会は高安の環境再生をテーマに地元の人々の参加も多く、大教室は盛況でした。

来場されたみなさま、協賛・協力いただいたみなさま、半年の準備や当日ボランティアを担当した学生諸君にも厚くお礼を申し上げます。大成功でした。

（環境アニメイティッドやお代表　橋本　久）

学生事務局を3年間続けて

学生事務局を始めた１回生の当初、私は環境にもまちづくりにも興味がありませんでした。

１年目の思い出は散々です。他のメンバーが誰も来ず、先輩と２人だけの会議。急遽、景品が足らず、景品用に拾ってきたドングリでいっぱいになった下宿先の冷凍庫。自宅に絶滅危惧種のニッポンバラタナゴが搬入されてきたこともあります。（展示するための仮置きで）

おまけにトラブル三昧のフェスティバル当日。ゴールのないマラソンを走っている気分でした。もうこんなこと辞めてやる！そう思っていたはずなのに、新学期には、壇上で次の学生メンバーを集めていました。

今はすっかりランナーズハイ。もう４年目のことを考えています。

振りかえると、私が走っていたのはマラソンではなく、リレー走だったのかもしれません。

もっとまちづくりのこと勉強したいな、今ではそう思っています。

（学生事務局　岡田 有加）

活動情報

ご参加をお待ちしています

第1日曜日 参加者募集
高安山
自然再生定期活動

第1金曜日
広報紙印刷
＆広報委員会
※変動する場合があります。

第3土曜日 参加者募集
八尾ふるさと
歴史楽校

第4月曜日
FMちゃおの放送
「情報プラザやお」

第4木曜日 参加者募集
楽音寺
森林整備活動

第4土曜日 参加者募集
高安の森
自然楽校

ホームページあります。
ホームページから河内の風を閲覧できます。

http://www.eco-ani-yao.org/

アニメイティッドやお　検索

「河内の風」はここで！

近鉄八尾、河内山本、久宝寺口駅・
八尾市内各出張所・プリズムホール・
市立八尾、山本、志紀、竜華図書館・
市立病院・かがやき・ウイング・
学習プラザ・歴史民俗資料館・
屋内プール・まちなみセンター・
サポートやお・ＦＭちゃお・
教育サポートセンター・
つどい・みらい・福祉会館・
Potager・近畿労働金庫八尾支店・
・大阪経済法科大学

ただいま、アニメイティッド会員募集中！

まずは、活動に参加してみてください。
いろんな人との出会いや情報交換ができます

年間会費：個人1,000円　市民団体2,000円
事業者5,000円　事業者団体10,000円

■　お問合せ先
環境アニメイティッドやお　事務局（八尾市環境保全課）
TEL　072－924－9359　FAX　072－924－0182
HP　http://www.eco-ani-yao.org/